

フロート板ガラス、すり板ガラスのご注意



ご注意

- ① ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。



すり板ガラスのご注意

- ① すり面が水に濡れると、透明度が増します。
- ② すり面に汚れが付着すると、除去しにくくなりますのでご注意ください。
- ③ すり板ガラスは、普通の板ガラスと比べて同じ呼び厚さでも強度が低下します。



設計・施工上のご注意

- ① 「フロート板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

高透過ガラスのご注意



ご注意

- ① ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

- ① 「フロート板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

網入、線入板ガラスのご注意



ご注意

- ① 網入、線入板ガラスは、小口に網材・線材が露出していますので、雨水や結露水により錆びることがあります。この錆びによる体積膨張により、切口付近のガラスにクラックが生じてガラスエッジ部の強度が低下し、日射による熱応力、風圧力などが加わって破損することがあります。ガラス端部には十分な防錆処理を施してください。
- ② 網入型板ガラスでは、ガラス端部に塗布した防錆剤の影響で周縁部が微妙に黒く見える場合がありますが、品質上は問題ありませんので、予めご了承ください。
- ③ 単板ガラスの網入、線入ガラスは防犯ガラスとしてはご使用になれません。
- ④ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。



熱割れのご注意

- ① 網入、線入板ガラスを切断する際、網材・線材を折り曲げて切るため、ガラスエッジ部に微細なクラックが入り、普通の板ガラスに比較しエッジ強度が低下し、熱割れが生じやすくなりますのでご注意ください。
- ② ガラス面にカーテンやブラインド、布団、家具などを密着させないでください。また、熱のこもりやすい構造は避けてください。
- ③ ガラス面にペンキを塗ったり、紙を貼ったりしないでください。
- ④ 空調装置の吹き出しエアが、直接ガラス面に当たらないようにしてください。
- ⑤ ガラス面に日射調整フィルムや装飾カラーフィルムなどを貼る場合は、熱割れの恐れがありますので、事前に熱割れの検討を行ってください。
- ⑥ 網入、線入高性能熱線反射ガラス(網入、線入スカイクール)のご使用にあたっては、必ず熱割れの検討を行ってください。
P.45の「網入、線入高性能熱線反射ガラスの施工上のご注意」をお読みください。
- ⑦ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」の「熱割れに関するご注意」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

- ① 「網入、線入板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② トップライトに使用されるガラスの取り付け時やクリーニング等でガラスの上にのることは絶対にしないでください。
- ③ トップライト・プール・浴室・海辺その他環境が厳しい場所や、高所でのご使用の場合には、通常の部位以上に錆割れ対策が必要です。
- ④ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

熱線吸収板ガラスのご注意



ご注意

- ① ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。



熱割れのご注意

- ① 日射エネルギーの吸収量が多く、一般に熱応力が大きく発生しますので熱割れ検討を行うとともに標準施工法をお守りください。
- ② ガラス面にカーテンやブラインド、布団、家具などを密着させないでください。また、熱のこもりやすい構造は避けてください。
- ③ ガラス面にペンキを塗ったり、紙を貼ったりしないでください。
- ④ 空調装置の吹き出しエアが、直接ガラス面に当たらないようにしてください。
- ⑤ ガラス面に日射調整フィルムや装飾カラーフィルムなどを貼る場合は、熱割れの恐れがありますので、事前に熱割れの検討を行ってください。
- ⑥ ガラスエッジ部に傷があると熱割れの原因になりますので、つやはま欠け、ヒビ等のないクリーンカットされたものをご使用ください。切断面に糸面取りなどの研磨をする場合は、#120以上の研磨仕上げにしてください。
- ⑦ ガラスがサッシに直接触れることは避けてください。
- ⑧ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」の「熱割れに関するご注意」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

- ① 「熱線吸収板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② サッシには、雨水や結露水の水抜き孔を設け、浸入水は速やかに排除できる構造にしてください。ただし、ガラス面に流さないようにしてください。ガラス面に流しますと、汚れが目立ちます。場合によっては、汚れが取れなくなることもあります。
- ③ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

型板ガラスのご注意



ご注意

- ① 型模様面は汚れが付着しやすいので、型模様面を室内側に向けてご使用ください。
- ② 型板ガラスは、フロート板ガラスと比べて同じ呼び厚さでも強度が低下します。
- ③ 品種によっては、型模様面に水分が付着すると透けて見えることもあります。
- ④ その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

- ① 「型板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2～5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。